

●演習ワークシート

事例 1

症例：2歳，男児，体重 10kg

2 日前から嘔吐下痢で，経口摂取が低下．尿は 8 時間前に少量，以降は認めていない．

意識	呼吸数	SpO ₂	脈拍数	血圧
清明	30 回/分	98%（室内気）	140 回/分	82/46 mmHg

毛細血管再充満時間
1 秒

口腔粘膜はやや乾燥，ツルゴール低下なし，

眼瞼陥凹なし，大泉門は閉鎖，四肢は温かい．

Na	K	Cl	TP	BUN	Cre
142 mEq/L	3.8 mEq/L	108 mEq/L	7.2 g/dL	12 mg/dL	0.3 mg/dL

演習課題 1

介入とそのあとの対応について、以下の項目に沿って考えてみましょう。

- ・特定行為の対象の確認
- ・病状範囲の確認
- ・特定行為内容

●演習ワークシート

事例 2

症例：10 歳，男児，体重 20kg

低酸素性虚血性脳症により寝たきりで，気管切開，人工呼吸管理中基礎疾患はそれ以外にはなし（心疾患なし，腎機能正常）．

注入栄養の収まりが悪く，1 日の排尿が 1 回 150mL のみであった．

意識	呼吸数	SpO ₂
普段と変わりなし （開眼あるが意思疎通できない）	20 回/分（自発呼吸あり）	95% [F _I O ₂ 0.21]

脈拍数	血圧	毛細血管再充満時間
138 回/分	92/50 mmHg	2 秒

口腔粘膜はやや乾燥，ツルゴール低下あり

眼瞼陥凹あり，四肢は冷たい

採血はできなかったが，点滴は確保されている

演習課題 2

介入とそのあとの対応について、以下の項目に沿って考えてみましょう。

- ・特定行為の対象の確認
- ・病状範囲の確認
- ・特定行為内容

●演習ワークシート

事例 3

症例：6 か月，女児，体重 8kg

2 日前から活気が乏しく，経口摂取が低下．尿は 12 時間前に少量，以降は認めていない．
ぐったりしてる，元気はなさそう

呼吸数	SpO ₂	脈拍数
54 回/分	96%（酸素 10L マスクで投与中）	182 回/分

血圧	毛細血管再充満時間
70/48 mmHg	2 秒

口腔粘膜は乾燥なし，ツルゴール低下なし，
眼瞼陥凹なし，大泉門は平坦，四肢は冷たい

Na	K	Cl	TP	BUN	Cre
144 mEq/L	4.0 mEq/L	110 mEq/L	7.2 g/dL	22 mg/dL	0.7 mg/dL

演習課題 3

介入とそのあとの対応について、以下の項目に沿って考えてみましょう。

- ・特定行為の対象の確認
- ・病状範囲の確認
- ・特定行為内容

手順書

脱水症状に対する輸液による補正

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

1. 長期間にわたり経口摂取や飲水ができていない場合
2. 嘔吐や下痢が持続し、体重が減少している場合
3. 発熱や発汗が持続し、体重が減少している場合
4. 多尿が持続し、体重が減少している場合

【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

- ☐ 意識状態の変化なし
- ☐ 血圧、脈拍、呼吸状態が安定している場合
- ☐ 医師による初回の病状判断（診断）がされている場合
- ☐ （血液検査で著明な血清電解質（Na, K, Cl）異常、腎機能（BUN, Cr）異常や低蛋白血症がないことが確認されていることが望ましい）

病状の範囲外

不安定
緊急性あり

担当医師に直接連絡し、指示をもらう

病状の範囲内

安定
緊急性なし

【診療の補助の内容】

脱水症状に対する輸液による補正

【特定行為を行うときに確認すべき事項】

- ☐ 意識レベルの変化
- ☐ バイタルサインの変化
- ☐ 心不全徴候（ $\text{SpO}_2 \leq 93\%$ ）

どれか一項目でもあれば、下記の確認をして担当医に連絡

- ☐ バイタルサイン（血圧、脈拍、呼吸数、経皮的酸素飽和度）
- ☐ 肺音聴診でう音（crackle, wheezing）の聴取
- ☐ 浮腫（顔面、下腿など）の悪化

担当医師に直接連絡し、指示をもらう

【医療の安全を確保するために医師・歯科医師との連絡が必要となった場合の連絡体制】

担当医師

【特定行為を行ったあとの医師又は歯科医師に対する報告の方法】

1. 担当医師の携帯電話に直接連絡
2. 診療録への記載

●演習ワークシート

演習日： 月 日

研修生番号：

研修生氏名：

事例 1 を確認し、特定行為を実施すると仮定し、以下の項目に対する記載を行ってください。

演習課題 1

演習課題 1 介入とそのあとの対応について、以下の項目に沿って考えてみましょう。

・特定行為の対象の確認

・病状範囲の確認

・特定行為内容

●演習ワークシート

事例 2 を確認し、特定行為を実施すると仮定し、以下の項目に対する記載を行ってください。

演習課題 2

演習課題 2 介入とそのあとの対応について、以下の項目に沿って考えてみましょう。

・特定行為の対象の確認

・病状範囲の確認

・特定行為内容

●演習ワークシート

事例 3 を確認し、特定行為を実施すると仮定し、以下の項目に対する記載を行ってください。

演習課題 3

演習課題 3 介入とそのあとの対応について、以下の項目に沿って考えてみましょう。

・特定行為の対象の確認

・病状範囲の確認

・特定行為内容